

# 第二回 産・官・学 新材料シンポジウム

—新しい材料系学科・コースのあり方—

共催:早稲田大学、物質・材料研究機構

協賛:早稲田大学理工学術院各務記念材料技術研究所、早稲田材料工学会

## ◆趣旨・目的:

社会・産業の構造基盤を支える材料学に係る工学的な課題の多くは、様々な因子が影響するため極めて先端化し融合化し複雑化する一方で、課題の解決策は学術的には十分体系化されていないのが現状です。

成熟社会が経済的かつ継続的發展を維持するためには、社会・産業基盤・インフラストラクチャーの効率的な革新・發展が不可欠であり、近年急速な進歩を遂げているナノテクノロジーやバイオテクノロジーなどの新技術も取り込んで、関係する産官学が協調し合って検討システムを構築することが不可欠です。

このような思いで2009年10月29日に、私達は「社会基盤材料学を構築し、持続可能な社会を發展させるために」のサブタイトルで、第1回のシンポジウムを開催し、幅広い分野から多数のご参加を得て熱心に意見交換をしました。今回はその成果を踏まえつつ、オールジャパンの観点から、知識基盤社会を支える材料人材育成に向けた、大学への期待と課題をより具体的にまとめたいと考えました。

前回同様に、学生、社会人にかかわらず多くの皆様のご参加をいただければ幸いです。

■ 日時:2010年5月25日 13:00~17:10

■ 場所:早稲田大学 大隈小講堂 (シンポジウム参加は無料)

## ■ プログラム(敬称略)

第1部 13:00-14:10 司会:西村陸(NIMS 燃料電池材料センター長)  
13:00-13:20 開会挨拶 馬越佑吉 NIMS 特別顧問 (日本学術会議材料工学委員会委員長)  
13:20-13:40 共催挨拶 白井克彦 早稲田大学総長  
13:40-14:10 早大材料系再生への期待 佐久間健人(高知工科大学長)

## 【休憩】

第2部 14:20-15:40 司会:酒井潤一(早稲田大学 教授)  
14:20-14:40 初等中等教育における理数教育の充実について 伯井美德(文部科学省初等中等局教育課程課長)  
14:40-15:00 次の社会を創る材料技術と求められる人財 須藤亮(㈱東芝 執行役常務)  
15:00-15:20 日新製鋼における技術系人材育成の課題 内田幸夫(日新製鋼㈱ 取締役 常務執行役員)  
15:20-15:40 早大理工系における材料系教育研究の展開 橋本周司(早稲田大学 理工学術院長)

## 【休憩】

第3部 16:00-17:00 パネル討論  
モデレーター 長井寿(NIMS 領域コーディネータ)  
パネリスト 平野清一(住友軽金属工業(株)研究開発センター 第一部長)  
パネリスト 川名章文(新日本製鐵(株)君津製鐵所 条鋼工場 マネジャー)  
パネリスト 加藤公明(三菱マテリアル(株)フェロー)  
パネリスト 廣本祥子(物質・材料研究機構生体材料センター 主幹研究員)  
17:00-17:10 閉会挨拶:堀越佳治 早稲田大学 常任理事

懇親会 17:30-20:00 大隈会館会議室